

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和 5年 8月15日
14時09分07秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0005758020 文化振興課学芸係

事務事業 02580 歴史博物館等施設管理事業

電話番号 0566-77-6655

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	005	15文化・芸術		
施策の方針	002	文化財の保存と活用		
事務事業	009	歴史博物館等施設管理事業		
事業期間	平成 2年度 ~			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市歴史博物館・市民ギャラリー・埋蔵文化財センターの設置及び管理に関する条例			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・歴史博物館・市民ギャラリー・埋蔵文化財センター施設管理事業 ・歴史博物館運営事業 ・市民ギャラリー・埋蔵文化財センター運営事業			

【事業分析】

対象	歴史博物館・市民ギャラリー・埋蔵文化財センター・安祥城址公園の利用者が
目的	歴史や美術に親しみ、常に快適に利用できるようになります。
手段	博物館協議会及び市民ギャラリー運営委員会を開催し運営について意見をいただき、指定管理により施設管理や集客イベント等を行います。
事務内容	歴史博物館・市民ギャラリー・埋蔵文化財センター・安祥城址公園の管理運営、博物館協議会及び市民ギャラリー運営委員会開催、施設修繕、指定管理者更新

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	156,574	152,665	152,518
事業費	146,014	146,065	145,918
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	146,014	146,065	145,918
人件費計	10,560	6,600	6,600
正規（人）	1.60	1.00	1.00
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	指定管理連絡調整会議（毎月）、博物館協議会2回（内1回書面開催）・ギャラリー運営委員会2回開催、施設修繕	指定管理連絡調整会議（毎月）、博物館協議会3回・ギャラリー運営委員会2回開催、施設修繕	指定管理連絡調整会議（毎月）、博物館協議会3回・ギャラリー運営委員会2回開催、施設修繕、指定管理者更新

事務事業評価シート (2 / 2)

2 頁
令和 5 年 8 月 15 日
14 時 09 分 07 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758020 文化振興課学芸係
事務事業 02580 歴史博物館等施設管理事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
歴史博物館入館者数	人	71,600.00 57,147.00	66,500.00 121,745.00	77,015.00 0.00
市民ギャラリー入館者数	人	155,500.00 107,229.00	130,000.00 155,577.00	149,500.00 0.00
市民ギャラリー展示室利用率	%	70.00 65.50	78.00 77.40	86.00 0.00
埋蔵文化財センター入館者数	人	8,000.00 6,712.00	6,700.00 11,948.00	13,400.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市域の歴史を伝える文化財の保全が必要です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	安城の歴史文化を紹介し、芸術活動発表の場として機能しています		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標を上回る来館者数でした。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	指定管理者との共同運営を行っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	2
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	近隣市町村で歴史博物館の開館・リニューアルが予定されています		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	令和 2 年度以降コロナ禍の影響を受けていましたが、影響が弱まってきたことや歴博特別展の入館者が目標値を大幅に上回ったこと、指定管理者主催のギャラリー夏の企画展が好評であったことなどにより歴博・ギャラリーともに来館者目標を上回ることができました。今年度も歴博ではNHK大河ドラマ関連展示、ギャラリーの開館 2 0 周年記念特別展など来館者が満足していただけるような企画を開催するとともに、安心して観覧できる環境づくりを行っていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート(1/2)

3頁
令和 5年 8月15日
14時09分07秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0005758020 文化振興課学芸係

事務事業 02581 丈山苑管理事務

電話番号 0566-77-6655

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	003	経済		
項目(施策)	003	9観光		
施策の方針	002	観光資源の活用		
事務事業	001	丈山苑管理事務		
事業期間	平成 8年度 ~			
実施方法	全部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生 定住・移住促進
根拠法令等	丈山苑の設置及び管理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	丈山苑の利用者が
目的	風雅を楽しむ詩作に遊んだ石川丈山のころを四季折々の草木を通じて感じられ、快適に施設を利用できるようになります。
手段	施設管理やイベントの実施を指定管理により行います。
事務内容	指定管理事務、指定管理者更新、丈山苑修繕計画策定業務、施設修繕

【コスト】

(単位:千円)

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	46,524	40,712	47,097
事業費	42,564	38,072	40,497
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	42,564	38,072	40,497
人件費計	3,960	2,640	6,600
正規(人)	0.60	0.40	1.00
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	指定管理者連絡調整会議(毎月)、建物等修繕、樹木剪定委託	指定管理者連絡調整会議(毎月)、建物等修繕、樹木剪定委託	指定管理者連絡調整会議(毎月)、建物等修繕、樹木剪定委託、指定管理者更新、丈山苑修繕計画策定業務委託

事務事業評価シート (2 / 2)

4 頁
令和 5年 8月15日
14時09分07秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0005758020 文化振興課学芸係
事務事業 02581 丈山苑管理事務

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
丈山苑入苑者数	人	19,550.00 27,399.00	18,600.00 32,057.00	21,700.00 0.00
苦情件数	件	0.00 10.00	0.00 5.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	石川丈山を顕彰する施設は当該施設のみです。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市の観光拠点の一つになっています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標を上回る来苑者でした。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	指定管理者制度を導入し、新規事業を企画しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体の類似施設に比べて呈茶を安価に提供しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	来苑者は目標を上回りました。今年度は修繕計画策定業務委託を行い、今後も計画的に修繕をしつつ、市民が施設や庭園を通して郷土出身の石川丈山を顕彰できる施設として維持していきます。また、観光拠点として市内外からの来苑者の集客にも努めていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

5頁
令和 5年 8月15日
14時09分07秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0005758020 文化振興課学芸係

事務事業 02582 歴史博物館展示事業

電話番号 0566-77-6655

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	005	15文化・芸術		
施策の方針	002	文化財の保存と活用		
事務事業	008	歴史博物館展示事業		
事業期間	平成 3年度 ~			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	博物館法、安城市歴史博物館の設置及び管理に関する条例			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・歴史博物館常設展事業 ・歴史博物館特別・企画展事業 ・企画展調査事業 ・次年度対策事業			

【事業分析】

対象	歴史や文化に関心がある人が
目的	展覧会を観覧することにより安城市や地域の歴史文化に対して理解を深められるようになります。
手段	特別展企画展を年5回開催し、記念講演や講座を実施します。また、調査の成果を常設展示に反映させます。
事務内容	特別展企画展・記念講演会開催、常設展管理・展示替え・リニューアル検討

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	36,184	39,206	43,555
事業費	20,344	26,006	30,355
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	177	192	300
一般財源	20,167	25,814	30,055
人件費計	15,840	13,200	13,200
正規（人）	2.40	2.00	2.00
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	特別展3回、企画展2回、記念講演会、次年度以降展覧会調査	特別展3回、企画展2回、記念講演会、次年度以降展覧会調査	特別展3回、企画展2回、記念講演会、次年度以降展覧会調査

事務事業評価シート (2 / 2)

6 頁
令和 5 年 8 月 15 日
14 時 09 分 07 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758020 文化振興課学芸係
事務事業 02582 歴史博物館展示事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
特別企画展観覧者数	人	28,000.00 19,782.00	26,000.00 39,356.00	26,500.00 0.00
常設展観覧者数	人	14,000.00 10,150.00	14,000.00 20,679.00	14,000.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市域の歴史・文化の展示は当該市が行うものです。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市域に関わる企画展示を年 4 回開催しています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標を上回る観覧者でした。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	指定管理者が PR 事業や広報を実施しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	市域の歴史に関する展示を中心に実施しています。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	夏の特別展は企画および指定管理者の広報戦略によって、また、2 月からの特別展は NHK 大河ドラマの影響を受け、それぞれ 1 万人を超える観覧者がありました。これにより目標を上回ることができました。今年度も大河ドラマ関連展示の実施など展示内容の充実化に努め、さらに多くの市民に来館いただけるようにしていきます。常設展示は開館から 3 0 年を経過しており、照明器具の更新や展示内容のリニューアルの実施を検討する必要があります。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート(1/2)

7頁
令和5年8月15日
14時09分07秒

評価年度 令和4年度 進捗区分 1次評価

所属 0005758020 文化振興課学芸係

事務事業 02583 歴史博物館講座等開催事業

電話番号 0566-77-6655

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目(施策)	005	15文化・芸術		
施策の方針	002	文化財の保存と活用		
事務事業	007	歴史博物館講座等開催事業		
事業期間	平成3年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	博物館法、安城市歴史博物館の設置及び管理に関する条例			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・歴史博物館体験学習等開催事業 ・歴史博物館見学学習・実習等受け入れ事業			

【事業分析】

対象	歴史に関心のある人、市内小中学生、学生が
目的	地域の歴史文化を学習し理解できるようになります。
手段	連続講座・松平シンポジウムを開催し、見学学習・博物館実習をはじめ総合学習の一環として他の学年や市外小中学生、高校生のほか中学生の職場体験を受け入れ、見学学習をサポートするボランティアを育成します。
事務内容	入門講座開催、松平シンポジウム開催、見学学習・職場体験受入、博物館実習実施、博物館ボランティア育成

【コスト】

(単位:千円)

	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額
トータルコスト	7,379	7,520	7,677
事業費	779	920	1,077
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	14	50	85
一般財源	765	870	992
人件費計	6,600	6,600	6,600
正規(人)	1.00	1.00	1.00
その他経費	0	0	0

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
【事務事業活動実績】	入門講座(1テーマ) 、連続講座(3テーマ) 、見学学習、体験学 習、松平シンポジウム 、博物館実習、博物館 ボランティア例会・養 成	入門講座(1テーマ) 、連続講座(3テーマ) 、見学学習、体験学 習、松平シンポジウム 、博物館実習、博物館 ボランティア例会・養 成	入門講座(1テーマ) 、連続講座(2テーマ) 、見学学習、体験学 習、松平シンポジウム 、博物館実習、博物館 ボランティア例会・養 成

事務事業評価シート（2/2）

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758020 文化振興課学芸係
事務事業 02583 歴史博物館講座等開催事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
連続講座等聴講率	%	90.00	90.00	90.00
		86.00	91.00	0.00
小中学生来館者数	人	3,800.00	3,800.00	3,600.00
		3,485.00	3,759.00	0.00
博物館ボランティア活動参加者数	人	100.00	120.00	40.00
		46.00	80.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市域の歴史に関する講座を中心に実施します。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	定員を超える講座があります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	見学学習はコロナ禍前の状況に戻つつあります。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	申し込みの方法を再検討していきます。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	市域に関する講座だけでなく専門性の高い講師の講座も実施します		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	小中学生の見学学習等の観覧者数はコロナ禍前の状況に回復してきました。今年度は見学学習の実施方法を変更し、子どもたちが自主的に歴史博物館の資料を調べることで、市域の歴史に興味を持ってもらえるようにします。コロナ禍によってボランティアの参加者が減少しているので今後の活動については再検討する必要があります。講座については、申し込み方法を再検討し、より多くの方に聴講する機会を設けることができますようにします。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

9頁
令和 5年 8月15日
14時09分07秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0005758020 文化振興課学芸係

事務事業 02584 歴史博物館運営事業

電話番号 0566-77-6655

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	005	15文化・芸術		
施策の方針	002	文化財の保存と活用		
事務事業	006	歴史博物館運営事業		
事業期間	平成 3年度 ~			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	博物館法、安城市歴史博物館の設置及び管理に関する条例			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・歴史博物館情報提供事業 ・歴史博物館収蔵品購入事業			

【事業分析】

対象	地域の歴史文化に関心のある人が
目的	調査研究ができ、貴重な歴史資料を適切な環境で保存することで、実物資料を見ることができるようになります。
手段	展示室・収蔵庫の環境管理及び資料くん蒸などにより収蔵資料の保存をはかります。
事務内容	文献資料室運営、展示室環境管理、収蔵品の購入、収蔵資料修繕、くん蒸

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	18,233	17,887	24,405
事業費	14,273	13,927	17,805
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	14,273	13,927	17,805
人件費計	3,960	3,960	6,600
正規（人）	0.60	0.60	1.00
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	歴史資料・参考資料購入、くん蒸（6回）、収蔵庫・展示室環境保全業務（5回）・真菌菌検査（2回）、研修参加、文献資料室運営管理	歴史資料・参考資料購入、くん蒸（6回）、収蔵庫・展示室環境保全業務（5回）・真菌菌検査（2回）、研修参加、文献資料室運営管理	歴史資料・参考資料購入、くん蒸（6回）、収蔵庫・展示室環境保全業務（5回）・真菌菌検査（2回）、研修参加、文献資料室運営管理

事務事業評価シート (2 / 2)

10 頁
令和 5 年 8 月 15 日
14 時 09 分 07 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758020 文化振興課学芸係
事務事業 02584 歴史博物館運営事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
博物館収蔵資料点数	点	94,000.00 107,576.00	108,000.00 108,882.00	112,000.00 0.00
文献資料室収蔵資料点数	点	59,000.00 61,075.00	62,000.00 63,075.00	64,000.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	収蔵資料の適切な保存管理が必要です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	展示資料の閲覧、研究目的の資料閲覧、文献利用があります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標を上回っています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事業費が削減できました。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	収蔵資料による企画展示を開催しています。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	博物館を継続して運営していくためには、地域の様々な資料を収集することが必要です。また、収蔵資料を後世に残し、展示などを通して広く市民に供するためには適切な展示・収蔵環境の維持が不可欠なので指定管理者と協働して温湿度管理や真菌・害虫検査を適宜行いながら保存環境の維持に努めていきます。 新規採用職員への収集・保管に関する研修も実施していきます。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

11頁
令和 5年 8月15日
14時09分07秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0005758020 文化振興課学芸係

事務事業 02585 史料整理活用事業

電話番号 0566-77-6655

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目（施策）	005	15文化・芸術			
施策の方針	002	文化財の保存と活用			
事務事業	005	史料整理活用事業			
事業期間	平成20年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	安城の歴史や文化に興味のある人が
目的	市内の文献資料を通してより深く関心をもてるようになります。
手段	市史編さん事業により刊行した新編安城市史等の幅広い活用を促すとともに、執筆の根拠となった古文書等の資料、マイクロフィルム、複製コピーなどの貴重な歴史的財産を整理・保存・公開します。また、未だ旧家・町内会・寺社等には未公開・未整理の貴重な歴史資料が多数存在し、それらの調査・整理・保存・公開を行います。
事務内容	収蔵・寄託資料管理、収蔵等資料整理、資料調査、文書史料集成刊行

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	19,630	20,390	22,443
事業費	14,350	13,790	15,843
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	14,350	13,790	15,843
人件費計	5,280	6,600	6,600
正規（人）	0.80	1.00	1.00
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	資料調査・受入・整理 ・研究・収蔵、文書史料 集成刊行	資料調査・受入・整理 ・研究・収蔵、文書史料 集成刊行	資料調査・受入・整理 ・研究・収蔵、文書史料 集成刊行

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758020 文化振興課学芸係
事務事業 02585 史料整理活用事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
博物館収蔵資料点数	点	101,000.00 107,576.00	109,000.00 108,882.00	113,000.00 0.00
資料整理点数	点	8,000.00 13,577.00	8,000.00 2,783.00	4,000.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市域の歴史資料は当該市で調査・収集・保存します。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	整理した資料を展示に利用し、市域の歴史の普及を図っていきます		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標を下回る結果でした。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	新規採用職員に研修を行い事業継続ができるようにします。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体以上に資料を収集・整理・保存する機能を有しています。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	市域の歴史を知ることができる収蔵資料、寄贈資料、調査資料等の整理を行い目録を作成し、展示や資料調査などで活用できるようにしています。開館以来収蔵した資料の整理や新規に受け入れた資料の整理を進め、展示で利用するなど市民が市域の歴史を知るための支援を行っていきます。また、近年は市域の施設の移転や住宅の建替などで新規受入資料数や件数が増加しつつあります。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート(1/2)

評価年度 令和4年度 進捗区分 1次評価

所属 0005758030 文化振興課文化財係

事務事業 02586 文化財啓発事業

電話番号 0566-77-4477

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目(施策)	005	15文化・芸術			
施策の方針	002	文化財の保存と活用			
事務事業	004	文化財啓発事業			
事業期間	昭和36年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業	まちづくり	マニフェスト		地方創生	健幸
根拠法令等					
備考	平成29年度からは、安祥文化のさとまつりが指定管理者の事業になりました。 令和4年度は、大河ドラマ「どうする家康」にあわせてガイドボランティアを養成し、高校生と協働で史跡解説YouTube動画を作りました。また、市制施行70周年記念として、西三河棒の手交流大会を開催しました。				

【事業分析】

対象	将来にわたって文化財の価値を享受する全ての市民が、
目的	地域の歴史から啓発を受け、歴史を「核」にしてまとめることで、郷土愛(シビック・プライド)を醸成することができます。また、対象が市外に広がることにより、市外からの観光客から評価を得られるようになります。「歴史の散歩道(ウォーキングコース)」の整備による健幸都市推進の要素もあります。
手段	調査研究結果に基づく、各種講座の実施やパンフレットの作成と配布、埋蔵文化財センターでの展示、ボランティア団体との協働や育成などを行うことにより、市民が安城の歴史の価値を理解できるようにします。また、ウォーキングコース(歴史の散歩道)の整備によって、健幸都市づくりを実現します。さらに、令和4年度には大河ドラマ「どうする家康」にあわせて、ガイドボランティアを養成しました。
事務内容	夏休み考古学講座やおおぞら歴史教室などの各種講座(出前講座を含む)の企画と実施、本證寺フェスティバル等の企画と参加、展示の企画と実施およびパンフレットの作成、歴史の散歩道整備、各ボランティア団体との育成や協働、地域のイベントへや小中学校総合学習への協力などがあります。

【コスト】

(単位:千円)

	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額
トータルコスト	7,933	12,691	12,592
事業費	1,333	6,091	4,012
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	45	0
一般財源	1,333	6,046	4,012
人件費計	6,600	6,600	8,580
正規(人)	1.00	1.00	1.30
その他経費	0	0	0

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
【事務事業活動実績】	各種出前講座 土器づくり教室 夏休みこども考古学教室 おおぞら歴史教室 歴史の散歩道(10種) (コロナの影響あり)	各種出前講座 土器づくり教室 夏休み考古学教室 おおぞら歴史教室 歴史の散歩道(10種) 西三河棒の手交流大会 どうする家康ボラン ティアガイド養成	各種出前講座 土器づくり教室 夏休み考古学教室 おおぞら歴史教室 歴史の散歩道(10種) どうする家康ボラン ティアガイド支援 高校生YouTube制作

事務事業評価シート (2 / 2)

2 頁
令和 5 年 8 月 15 日
14 時 09 分 53 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758030 文化振興課文化財係
事務事業 02586 文化財啓発事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
文化財関連事業参加者数	人	21,000.00 13,268.00	21,000.00 22,000.00	22,000.00 0.00
新聞、TVなどの登場回数	回	13.00 19.00	14.00 16.00	15.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	地域に密着しながら、専門的なレベルを維持しています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	養成したボランティアガイドは大活躍しています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	コロナ禍から抜け出て、目標を達成できました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	ボランティア団体と協働して成果をあげています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	高校生と協働でのYouTube動画制作は斬新な取り組みです。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	ようやくコロナ禍の影響が落ち着き、イベント等に参加する市民が戻ってきました。特に大河ドラマ「どうする家康」にあわせて、ガイドボランティアを養成したり、高校生と協働で史跡解説YouTube動画を作ったりと、事業の幅を広げました。 文化財保護の最終的な目標は、文化財を保存しつつ、地域の誇りや郷土愛（シビック・プライド）を醸成することです。今後、講座などの開催に加えて、様々な団体と協働で行う事業を増やしていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和 5年 8月15日
14時09分53秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0005758030 文化振興課文化財係

事務事業 02587 文化財保護事業

電話番号 0566-77-4477

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目（施策）	005	15文化・芸術			
施策の方針	002	文化財の保存と活用			
事務事業	003	文化財保護事業			
事業期間	昭和39年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的/政策的	性質別費目	
健全事業	まちづくり	マニフェスト		地方創生	健全
根拠法令等	文化財保護法、愛知県文化財保護条例、安城市文化財保護条例				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を分割・統合しています。 ・文化財保護事業（史跡整備部分を分割） ・文化財保存事業（統合） ・文化財調査事業（統合） ・郷土史出版奨励事業（統合）				

【事業分析】

対象	将来にわたって文化財の価値を享受する全ての市民が、
目的	文化財を保存し、整備・活用することによって、その価値を享受できるようになります。このように市民が文化財の価値を「共有」することで、地域への誇りが芽生え、関心が高まり、連帯感が生まれます。
手段	総務的内容、調査的内容、保存的内容の3つに分けられます。総務的内容では、文化財指定やそのための文化財保護委員会運営、史跡説明看板のリニューアル、天然記念物害虫駆除などがあります。調査的内容では、建造物や美術工芸品の調査（大学への委託による調査を含む）を行っています。保存的内容では、無形民俗文化財の保存団体や、有形文化財の所有者、郷土史に関する書籍等の出版される市民への補助金を交付しています。
事務内容	文化財指定や現状変更に関する事務、文化財保護委員会の運営事務、史跡説明看板のリニューアルや天然記念物害虫駆除の委託業務のための事務、調査等を委託する場合の事務、様々な補助金交付事務があります。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	16,000	22,747	19,356
事業費	9,400	16,147	12,756
国庫支出金	1,791	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	7,609	16,147	12,756
人件費計	6,600	6,600	6,600
正規（人）	1.00	1.00	1.00
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	文化財保護委員会運営 史跡説明看板リニューアル 天然記念物害虫駆除 文化財悉皆調査 無形民俗文化財保存伝承・有形文化財修理補助金交付	文化財保護委員会運営 史跡説明看板リニューアル 天然記念物害虫駆除 文化財悉皆調査 無形民俗文化財保存伝承・有形文化財修理補助金交付 東海道松並木補植	文化財保護委員会運営 史跡説明看板リニューアル 天然記念物害虫駆除 文化財悉皆調査 無形民俗文化財保存伝承・有形文化財修理補助金交付 東海道松並木補植

事務事業評価シート (2 / 2)

4 頁
令和 5 年 8 月 15 日
14 時 09 分 53 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758030 文化振興課文化財係
事務事業 02587 文化財保護事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
指定および登録文化財の件数	件	246.00 244.00	248.00 243.00	250.00 0.00
歴史・文化に愛着や誇りを感じる人の割合	%	44.00 42.90	45.00 42.90	46.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市が実施すべき地域に密着した内容を行っています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	文化財保護は、近年注目を集めている分野です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	指定文化財については、一定の出尽くし感があります。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	文化財調査を大学に委託するなど、事務改善に努めています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	文化財保護委員の数は必要最小限（最大15人を10人）です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	<p>本事業は、文化財保護の核となるものです。</p> <p>令和4年度は、重要文化財聖徳太子絵伝・善光寺如来絵伝（本證寺）の修理を10年計画で始めました。</p> <p>また、市制施行70周年を記念して、東海道松並木挿植を開始しました。5年度以降も継続していく予定です。</p> <p>新規指定・登録文化財数は一定の出尽くし感がありますが、今後の文化財悉皆調査による新たな発見に努めます。</p> <p>榎前のクログネモチ（県指定）が枯死により指定解除となりました。</p> <p>クラウドファンディングなど、所有者が補助金だけでなく自己資金調達の仕組みを考えていく必要があります。</p>

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

5頁
令和 5年 8月15日
14時09分53秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0005758030 文化振興課文化財係

事務事業 02588 史跡整備事業

電話番号 0566-77-4477

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目（施策）	005	15文化・芸術			
施策の方針	002	文化財の保存と活用			
事務事業	002	史跡整備事業			
事業期間	昭和36年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的/政策的	性質別費目	
健全事業	まちづくり	マニフェスト		地方創生	健全
根拠法令等	文化財保護法、愛知県文化財保護条例、安城市文化財保護条例				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業から分離、独立させています。 ・文化財保護事業				

【事業分析】

対象	史跡の価値を共有できる全ての市民が、
目的	史跡を活用できるように整備することで、その価値を理解し、誇りが生まれることを目指します。
手段	まず、史跡を開発から守り保存するために公有化（用地買収）を行います。次に、その史跡が価値を損なうことがないように保存し、その価値を見てわかるよう整備を行います。
事務内容	土地公有化については用地買収事務、整備については計画立案とともに有識者からの意見聴取や具体的な整備工事の実施があります。また、ワークショップの実施やイベントの開催（参加）などがあります。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	21,299	249,717	185,738
事業費	8,099	236,517	167,918
国庫支出金	3,212	134,625	76,231
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	4,887	101,892	91,687
人件費計	13,200	13,200	17,820
正規（人）	2.00	2.00	2.70
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	本證寺境内土地公有化（交渉のみ） 本證寺ワークショップ実施（直営） 本證寺史跡公園整備検討会議及び課題検討	本證寺境内土地公有化 本證寺ワークショップ実施（直営） 史跡本證寺境内整備基本計画策定 本證寺石垣修理工事 姫小川古墳崩落防止対策工事	本證寺境内土地公有化 本證寺ワークショップ実施（直営） 史跡本證寺境内整備実施設計策定 史跡本證寺境内整備工事

事務事業評価シート（2/2）

6頁
令和 5年 8月15日
14時09分53秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0005758030 文化振興課文化財係
事務事業 02588 史跡整備事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
土地公有化面積の計画達成率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	史跡の公有化と整備は、市町村の事業です。		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	本證寺は、大河ドラマで注目されました。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	ほぼ、目標通りに進捗しています。		
4 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	国庫補助金を可能な限り申請しています。		
5 公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	全国的に史跡整備は注目されている分野です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	拡充
1次コメント (400文字)	文化財保護や史跡整備は、地域への誇りや郷土愛（シビック・プライド）を醸成するという意味で、今後注目されていく事業です。特に、本證寺は大河ドラマ「どうする家康」に登場し、大勢の見学者が訪れました。今後は、従来からの形の整備だけではなく、ボランティア団体や様々な市民との協働により、イベントやガイド活動などの人的魅力も高めていく必要があります。こうしたことから、平成30年度からのワークショップ「未来寺小屋」を継続しています。 令和4年度は、史跡本證寺境内の整備について基本計画を策定しました。 さらに、墳丘の崩落が起きていた姫小川古墳を修理、整備しました。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0005758030 文化振興課文化財係

事務事業 02589 埋蔵文化財調査事業

電話番号 0566-77-4477

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目（施策）	005	15文化・芸術			
施策の方針	002	文化財の保存と活用			
事務事業	001	埋蔵文化財調査事業			
事業期間	昭和26年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	定住・移住促進
根拠法令等	文化財保護法、安城市埋蔵文化財センターの設置及び管理に関する条例				
備考	主に、住宅開発に伴い破壊される遺跡の事前調査（発掘調査による記録保存）に関する事業。				

【事業分析】

対象	将来にわたって埋蔵文化財の価値を享受する全ての市民が、
目的	遺跡が保存されたり、発掘調査によってその価値を知ること、地域への関心と誇りを得ることができます。文化財保護法により、埋蔵文化財包蔵地（遺跡）を開発（土木工事）する場合は、事前調査が必要です。
手段	文化財保護法に基づき、埋蔵文化財包蔵地（遺跡）を開発（土木工事）する場合、提出される申請書の受け付け、指導、処理を行います。可能な限り開発による破壊を回避する指導を行います。困難な場合は事前の試掘調査と発掘調査（記録保存）をしています。調査後は、調査成果を整理、研究し、報告書を発行するとともに、出土遺物は収蔵保存を行います。そして、その発掘成果を市民にフィードバックしています。
事務内容	埋蔵文化財包蔵地発掘の申請書受け付け、指導、処理、発掘調査（試掘・本発掘および立会い調査）、出土遺物の整理、調査研究、発掘報告書の発行などがあります。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	93,478	84,738	110,963
事業費	73,678	64,938	91,163
国庫支出金	7,974	8,809	19,953
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	115	81	105
一般財源	65,589	56,048	71,105
人件費計	19,800	19,800	19,800
正規（人）	3.00	3.00	3.00
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	開発に伴う市内遺跡発掘調査 本證寺境内確認調査 姫小川古墳発掘調査	開発に伴う市内遺跡発掘調査 本證寺境内確認調査 姫小川古墳発掘調査	開発に伴う市内遺跡発掘調査 本證寺境内確認調査 桜林小学校（中狭間遺跡）発掘調査

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758030 文化振興課文化財係
事務事業 02589 埋蔵文化財調査事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
住宅着工前に発掘調査を終えることのできな かった件数	件	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
発掘調査の成果等がマ スコミで取り上げられ た件数	件	1.00 1.00	1.00 0.00	1.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	県埋文センターとの住み分けはできています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	全国的には、開発目的から史跡整備へと変化しています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	報道機関等に取り上げていただけませんでした。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	重機のオペレーターは、職員に免許を取らせて対応しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	小規模な住宅開発目的が中心で、適正規模を維持しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	個人が遺跡上を住宅開発する場合や、史跡整備の情報収集のための発掘調査を行う事業で、今後も維持・継続が求められます。 報道機関等に向け情報発信を行い、令和 4 年度は延べ 16 回に渡り記事等にいただきましたが、埋蔵文化財に関するものではありませんでした。 安城市では、長い間、遺跡上の開発が増加傾向にありましたが、円安による資材高騰で住宅開発は一旦落ち着きを見せました。ただし、これが長期にわたるものなのかはわかりません。 全国的な傾向として、こうした開発に伴う発掘調査が中心となる事業内容から、史跡整備を目的とするものへと、徐々にシフトしていくことになると考えられます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和 5年 8月15日
14時10分27秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0005758040 文化振興課芸術文化係

事務事業 02590 文化活動団体支援事業

電話番号 0566-77-6853

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	005	15文化・芸術		
施策の方針	003	文化芸術の鑑賞機会提供・情報発信		
事務事業	005	文化活動団体支援事業		
事業期間	平成元年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業	ひとづくり	マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市補助金等の予算執行に関する規則 安城文化協会補助金交付要綱			
備考				

【事業分析】

対象	文化協会が
目的	財政的基盤を充実させ、加盟する団体、個人の活動も活性化し、芸術文化の交流が深まります。
手段	文化活動団体を支援し、広く市民の文化活動を活性化させ、生涯にわたり、健康に芸術や文化に取り組める基盤を作ります。近年文化団体の減少傾向がありますが、安城の文化を支える文化団体の灯を絶やさぬように方向性を模索しながら助成を実施します。
事務内容	助成金交付事務（職員人件費の部分があるため前金払いで、年間を2回に分けて支払います。） 青少年文化芸術活動団体等への激励金交付事務

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	4,460	4,995	4,640
事業費	1,820	2,355	2,000
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,820	2,355	2,000
人件費計	2,640	2,640	2,640
正規（人）	0.40	0.40	0.40
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	<ul style="list-style-type: none">文化協会の育成今後の文化協会についての検討文協祭の実施市民芸術祭委託事業文協選抜展、こあ展青少年文化芸術活動団体等の支援	<ul style="list-style-type: none">文化協会の育成今後の文化協会についての検討文協祭の実施市民芸術祭委託事業文協選抜展、こあ展西三文協美術展の実施青少年文化芸術活動団体等の支援	<ul style="list-style-type: none">文化協会の育成今後の文化協会についての検討文協祭の実施市民芸術祭委託事業文協選抜展、こあ展青少年文化芸術活動団体等の支援

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758040 文化振興課芸術文化係
事務事業 02590 文化活動団体支援事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
文化協会加盟団体数	団体	80.00 72.00	72.00 71.00	71.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市民による芸術団体活動をまとめる文化協会への補助金支援です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	安城市の文化を支える団体で、広く市民の参加があります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	会員の高齢化により団体数は徐々に減少しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	芸術祭の 3 部門を文化協会に委託し、参加者増に貢献しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	近隣の市の文化協会と比較し、適正と考えられます。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	安城文化協会に芸術祭を委託して 8 年目になります。令和 3 年度は新型コロナウイルスの影響で「市民芸能まつり」を中止にしましたが、令和 4 年度は無事 3 事業を実施することができました。「市民文芸まつり」の応募数は減少傾向にありますが、「安美展」と「文芸・技芸・趣味の集い」、「市民芸能まつり」には参加者数の増加が見られました。今後も安城の文化の灯を絶やさぬよう、より多くの市民の方に参加していただける事業を実施し、市内の文化活動団体の支援を継続していきます。また、令和 4 年度は第 3 0 回西三文協美術展を安城市で実施しました。愛知県西三河部市町文化協会の美術文化活動の発表を通じ、各協会の親睦と文化活動の振興を図ることができました。「安城市青少年文化芸術全国大会等激励金」については、事業を継続することで、青少年の文化活動に対する支援を継続していきます。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和 5年 8月15日
14時10分27秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0005758040 文化振興課芸術文化係
事務事業 02591 市民ギャラリー美術品購入事業

電話番号 0566-77-6853

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目（施策）	005	1.5文化・芸術			
施策の方針	001	1.5文化・芸術その他			
事務事業	001	市民ギャラリー美術品購入事業			
事業期間	昭和57年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業	ひとづくり	マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	安城市附属機関の設置に関する条例（安城市条例第34号）第5条				
備考					

【事業分析】

対象	市民が
目的	地元縁の深い作家の貴重な作品を鑑賞できます。
手段	安城市が所有するにふさわしい貴重な美術作品を調査研究し購入を進めます。購入した作品は、展示会を実施し、市民の皆さまにご鑑賞いただきます。令和4年度までに244点の美術作品を購入しました。
事務内容	地元安城ゆかりの作家を中心に調査、安城市民ギャラリー美術品等収蔵委員会にて検討、作品確認（内覧）

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	3,764	4,525	5,098
事業費	2,444	3,205	3,778
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	2,444	3,205	3,778
人件費計	1,320	1,320	1,320
正規（人）	0.20	0.20	0.20
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	安美展の最高賞の受賞作品及び、地元の作家で全国公募展等で入選受賞した作品や地元縁の作家の作品を対象に検討しました。	安美展の最高賞の受賞作品及び、地元の作家で全国公募展等で入選受賞した作品や地元縁の作家の作品を対象に検討しました。	安美展の最高賞の受賞作品及び、地元の作家で全国公募展等で入選受賞した作品や地元縁の作家の作品を対象に検討します。

事務事業評価シート (2 / 2)

4 頁
令和 5年 8月15日
14時10分27秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0005758040 文化振興課芸術文化係
事務事業 02591 市民ギャラリー美術品購入事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
展示作品点数	点	38.00	38.00	39.00
		76.00	92.00	0.00
観覧者数	人	4,900.00	4,300.00	4,300.00
		5,831.00	6,089.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	地元ゆかり作家を熟知した市が作品収集・展示する必要があります		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	観覧者のアンケートからも高い評価を得られています		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	購入作品を十分に利用し、展示を開催できています		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	指定管理事業者と共同で展示を開催し、作品を利用できています		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市に劣らず収蔵品を利用できています		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	今年度も寄贈作品や購入作品を調査し、安城市の収蔵作品として相応しい作品であるかを検討しながら収蔵を進めていきます。また、収蔵作品は広く市民の皆様に鑑賞いただけるように企画展などで展示していきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0005758040 文化振興課芸術文化係

事務事業 02592 芸術鑑賞会事業

電話番号 0566-77-6853

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目（施策）	005	15文化・芸術			
施策の方針	003	文化芸術の鑑賞機会提供・情報発信			
事務事業	004	芸術鑑賞会事業			
事業期間	平成元年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業から名称変更しています。 ・市民芸術鑑賞会事業				

【事業分析】

対象	芸術文化に興味をもつ市民が
目的	優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることができます。
手段	古典芸能や伝統芸能、クラシック音楽などの鑑賞会を実施します。質の高い芸能分野の舞台公演を身近に鑑賞いただき、伝統芸能・芸術のすばらしさを感じていただきます。
事務内容	前回開催のアンケートを参考に事業内容の検討、出演団体交渉、契約事務、広報PR、チラシ作成、チケット発売、開催実施、アンケート集計、実施報告

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	10,189	13,104	10,838
事業費	2,929	5,844	3,578
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	442	1,272	965
一般財源	2,487	4,572	2,613
人件費計	7,260	7,260	7,260
正規（人）	1.10	1.10	1.10
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	3年度：「能・狂言」を実施。安城市吹奏楽フェスティバルは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。市内小中学校アウトリーチ事業は実施しました。	4年度：「田村響とセントラル愛知交響楽団」コンサート、市内小中学校アウトリーチ事業を実施しました。安城市吹奏楽フェスティバルは中止を決定しました。	5年度：「栗コーダーカルテット」ファミリーコンサート及び市内小中学校アウトリーチ事業を実施します。

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758040 文化振興課芸術文化係
事務事業 02592 芸術鑑賞会事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
チケット販売枚数	枚	230.00 230.00	415.00 385.00	644.00 0.00
アンケートによる満足度	%	80.00 88.80	80.00 91.60	80.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	アウトリーチ事業は市内小中学校で行う芸術文化の出張演奏会です		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	コロナ禍から徐々に観客を会場に呼び戻しています		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	質の良い演奏会を提供出来ました		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	アウトリーチ事業をコロナ前の規模で開催できました		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	コロナ禍にあって演奏の質を下げず安全を確保して開催しました		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	令和5年度はへきしんギャラクシープラザにて「栗コーダーカルテット」ファミリーコンサートを実施します。音楽の授業でなじみ深いリコーダーの曲、おなじみのテレビ番組のテーマ曲など、子ども世代も親世代も一緒になって楽しめる音楽鑑賞の機会を提供します。なお、「安城市吹奏楽フェスティバル」については、学校の部活動単位で交流を深めるメリットが、部活動の地域移行になじまなくなったことから、令和4年度に事業の終了を決定しました。今後は子どもから大人まであらゆる世代が気軽に文化芸術に触れる機会の創出につなげていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0005758040 文化振興課芸術文化係

事務事業 02593 文化芸術協働事業

電話番号 0566-77-6853

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	005	15文化・芸術		
施策の方針	003	文化芸術の鑑賞機会提供・情報発信		
事務事業	003	文化芸術協働事業		
事業期間	昭和21年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	市民公募文化事業補助金交付要綱、市民公募文化事業美術部門補助金交付要綱			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・市民芸術祭事業 ・市民演劇祭事業 ・安美展事業 ・市民公募文化事業			

【事業分析】

対象	芸術分野、技芸・芸能に興味があり、自ら創作する、上演する、演技することを望む市民が
目的	自作品の発表や展示、自らの技芸の披露、団体に企画した演劇の公演等をする機会を得ることができます。
手段	作品発表・展示の場を設けたり、技芸や演劇を披露する公演の場所を提供することで、市民の文化水準の向上と、それらの作品や技芸、演劇を鑑賞する機会の充実を図ります。
事務内容	市民文芸まつり、市民芸能まつり、文芸・技芸・趣味の集いの3事業を安城文化協会に委託、安美展・市民演劇祭の企画・募集・展示及び公演実施、市民公募文化事業の企画・募集・審査と公演までの周知啓発の補助

【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	15,454	17,315	24,788
事業費	6,082	8,735	11,588
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	6,082	8,735	11,588
人件費計	8,580	8,580	13,200
正規（人）	1.30	1.30	2.00
その他経費	792	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	・市民芸術祭（安城文化協会委託事業）の開催 ・安美展の開催 ・市民演劇祭の開催 ・市民公募文化事業の募集、採択、補助	・市民芸術祭（安城文化協会委託事業）の開催 ・安美展の開催 ・市民演劇祭の開催 ・市民公募文化事業の募集、採択、補助 ・文化芸術団体アートマネジメント講座の開催	・市民芸術祭（安城文化協会委託事業）の開催 ・安美展の開催 ・市民演劇祭の開催 ・市民公募文化事業の募集、採択、補助 ・文化芸術団体アートマネジメント講座の開催

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758040 文化振興課芸術文化係
事務事業 02593 文化芸術協働事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
市民芸術祭の出演および出展者数・観覧者数	人	20,000.00 26,529.00	20,000.00 26,769.00	20,000.00 0.00
市民演劇祭の参加団体数	団体	8.00 0.00	6.00 5.00	6.00 0.00
市民公募文化事業の公演件数	回	8.00 6.00	10.00 11.00	12.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市民から公募して実施する事業が主体となっています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	出演者、参加者数から市民ニーズが充分にあることがわかります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	概ね目標どおり市民の文化芸術活動を支援することができました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	運営方法を改善し、事業参加者からも高い評価を得られています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市と比較しても適正と考えられます。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じたうえで実施できた事業もありますが、一方で、例年市民演劇祭に出演し続けていた高校演劇の現場では、複数年にわたり出演申込を見送らざるを得ない状況となっています。令和4年度は各団体の活動継続への不安をやわらげ、モチベーションを維持するための支援として、新たに高校演劇と社会人演劇の情報交流会を開催しました。市民芸術祭では目標を上回る出演及び参加があり、市民公募文化事業でも採択事業11件のうち4件が新規団体となりました。今後も引き続き多くの市民の芸術活動を支援し、芸術鑑賞機会拡大につながる催し等を計画してまいります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

9頁
令和 5年 8月15日
14時10分27秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0005758040 文化振興課芸術文化係

事務事業 02594 市民ギャラリー講座事業

電話番号 0566-77-6853

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目(施策)	005	15文化・芸術			
施策の方針	003	文化芸術の鑑賞機会提供・情報発信			
事務事業	002	市民ギャラリー講座事業			
事業期間	平成15年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業	ひとづくり	マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	美術創作活動に意欲のある市民が
目的	質の高い創作活動の機会を得ながら学ぶことができます。
手段	多くの市民に美術に親しんでもらい制作意欲を高めていただき、生きがいを持って健康に暮らせ、将来の担い手となる感性豊かな人材を育てていく場を美術講座を通して提供します。
事務内容	計画(子ども向け、一般向け、親子向け)美術講座、講師選定、PR事務、参加者案内、材料準備事務、開催実施事務、(作品展示)、アンケート集計、報告事務

【コスト】

(単位:千円)

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	12,082	11,908	13,925
事業費	1,843	2,008	2,045
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	1,261	1,279	1,110
一般財源	582	729	935
人件費計	9,900	9,900	11,880
正規(人)	1.50	1.50	1.80
その他経費	339	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	美術講座の企画推進に関する業務(日程、講師選定など)。講座内容検討、講師打合せ、PR、実施、アンケートの集計 14講座 1,154人(延参加者数)	美術講座の企画推進に関する業務(日程、講師選定など)。講座内容検討、講師打合せ、PR、実施、アンケートの集計 14講座 1,100人(延参加者数)	美術講座の企画推進に関する業務(日程、講師選定など)。講座内容検討、講師打合せ、PR、実施、アンケートの集計 14講座実施予定

事務事業評価シート (2 / 2)

10 頁
令和 5 年 8 月 15 日
14 時 10 分 27 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758040 文化振興課芸術文化係
事務事業 02594 市民ギャラリー講座事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
参加者数	人	192.00 237.00	192.00 228.00	192.00 0.00
結果アンケート	%	89.00 94.70	89.00 99.50	89.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	版画など民間ではできない設備を、比較的低額で提供しています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	アンケート結果も良好で、ニーズも参考に実施しています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	参加者数やアンケートの目標値を超えています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	受講者が安美展出品作家としてのレベルへつながっています。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	安城市としての特性を持たせながら進めています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	令和 4 年度は講座の定員をコロナ禍以前の例年の状況に戻し、実施しました。昨年に引き続き、日本画講座では、受講者のうち 7 名が安美展に入選し、うち 1 名は受賞しました。また、4 年度から実施した、書の講座では 3 名の受講者が安美展に入選するなど、良い結果が得られました。 令和 5 年度は、中学生の休日部活動の段階的な縮小に伴う、文化部活動の地域移行を踏まえ、中学生の参加を含めた講座を検討し、実施してまいります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価
所属 0005758040 文化振興課芸術文化係
事務事業 02595 市民ギャラリー企画展事業

電話番号 0566-77-6853

【基本情報】

計画回数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	004	きずな			
項目 (施策)	005	1 5 文化・芸術			
施策の方針	003	文化芸術の鑑賞機会提供・情報発信			
事務事業	001	市民ギャラリー企画展事業			
事業期間	平成16年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考	平成 2 8 年度の事務事業の見直しにより、平成 2 9 年度から以下の事業を統合しています。 ・市民ギャラリー郷土作家展事業 ・市民ギャラリーコレクション展事業				

【事業分析】

対象	文化芸術に関心のある市民が
目的	郷土の作家を中心とした美術作品を鑑賞する機会を得ることができます。
手段	年 3 回程度、市が所蔵する美術作品を中心に展示する企画展を開催します。郷土ゆかりの作家を取り扱う展覧会や市民ギャラリー収蔵品から選りすぐったテーマ展示のほか、他の美術館等の協力のもと、幅広い時代や地域の作品を紹介する展覧会を実施します。
事務内容	作家及び作品調査、企画立案、作品借用事務、P R 事務、作品運搬委託事務、企画展示実施、アンケート集計、開催結果報告事務

【コスト】

(単位 : 千円)

	令和 3 年度 決算額	令和 4 年度 決算額	令和 5 年度 予算額
トータルコスト	13,225	15,555	22,580
事業費	3,325	5,655	12,680
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	304	256	5,215
一般財源	3,021	5,399	7,465
人件費計	9,900	9,900	9,900
正規 (人)	1.50	1.50	1.50
その他経費	0	0	0

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
【事務事業活動実績】	企画展「人物像の深遠」(13日間)、「Home」(9日間)、特別展「日本画家石川英鳳が築いた美」(26日間)、収蔵品展「静寂の真髄」、「人物像に想いを込めて」(各10日間、指定管理者共催)	企画展「成田満喜子展 人、色、模様」、「あつまれ!いきものたち」、市制70周年記念特別展「砺波市・安城市交流美術展 - 砺波市美術館所蔵品より - 」、収蔵品展「遥かなブルー」、「工芸〜てしことのかたち〜」	企画展「安美展第80回記念展」(13日間)、「美術で味わう市民ギャラリーレストラン」(10日間)、市民ギャラリー開館20周年記念特別展「大正イマジユリイの世界」(27日間)

事務事業評価シート（2/2）

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価
所属 0005758040 文化振興課芸術文化係
事務事業 02595 市民ギャラリー企画展事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
観覧者数	人	4,900.00 5,831.00	4,300.00 6,089.00	4,300.00 0.00
アンケートによる満足度	%	85.00 92.86	85.00 90.90	85.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	地元作家作品を主に展示しているため市が実施する必要があります		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	アンケート結果から、観覧者ニーズを満たしているといえます		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	収蔵品展を追加開催し、観覧者、満足度ともに目標達成しています		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	指定管理事業者と連携し、効率よく事業を実施しています		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	特別展は受益者負担を考慮し、有料展としています		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	小中学生の作品募集においては、新型コロナウイルス感染症拡大前より応募作品数は少ないもののテーマを取り組みやすいものにする事で、多くの応募がありました。その結果、応募数、観覧者数は昨年を大きく上回ることができました。今後は、更に効果的に事業目的が達成できるよう、郷土の作家を中心とした美術作品を鑑賞する機会を積極的に創出するとともに、より多くの方にご観覧いただけるよう、指定管理者のノウハウを生かし、コストを抑えつつ広く周知する方法を検討していきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。